

# チケットについて

各会場席数に限りがございます。  
お早めにお買い求めください。開場は各回30分前です。

※ 各会場は、歴史的建造物であることもあり、冷え込む場合がございます。暖かい格好で会場にお越しくださいませ。

チケット料金	
<b>旧石井県令邸公演</b> ➔ オープニングイベント／無料(要予約) ➔ 山月記／1,500円(各回定員20名) ➔ ト(")リップ／500円(各回定員12名程度)	<b>岩手銀行赤レンガ館公演</b> ➔ ベートーヴェンを踊る／1,500円(各回定員30名)
<b>岩手県公会堂公演</b> ➔ 木管五重奏コンサート／1,500円(各回定員50名) ➔ いわたの《四季》／1,500円(各回定員50名)	<b>もりおか啄木・賢治青春館公演</b> ➔ マリンバの魅力／1,500円(定員60名)
<b>ワークショップ</b> ➔ ムジタンツ／参加費無料(定員10名) ※申込先着順	

購入方法	
<b>プレイガイドで買う</b> ○カワトク ○プラザおでって ○風のスタジオ ○もりおか町家物語館 ○Cyg art gallery ○井上楽器(音楽公演のみ)	<b>電話で予約する</b> (平日10:00-18:00) いわたアートサポートセンターチケット予約窓口 <b>019-656-8145</b>
<b>WEBで予約する</b>	<b>Googleフォーム</b> から予約が可能です。 リンク先にそれぞれの公演のwebフォームがあります▶

## イベント情報はこちらをチェック

本公演の最新情報 アーツライブいわて2023  
<https://iwate-arts.jp/>

X (Twitter) アカウント @Artslive\_iwate

Instagram (IWATE AIR AIR) アカウント @iwate\_airair

お問い合わせ  
 NPO法人いわてアートサポートセンター  
 〒020-0874 岩手県盛岡市南大通1丁目15-7  
 盛岡南大通ビル3階  
 TEL.019-656-8145 caravan@iwate-arts.jp

# MORIOKA ARTS TRAVERSE

## もりおか周遊舞台芸術祭とは?

MORIOKA ARTS TRAVERSE (モリオカ・アーツ・トラヴァース)は、盛岡市内4つの歴史的建造物を会場として行われる、「めぐって楽しめる」舞台芸術祭です。このイベントでは期間中、コンテンポラリーダンス、演劇、クラシック音楽、現代音楽、デジタルインスタレーション等の様々なジャンルを横断したライブパフォーマンス公演が開催されます。

芸術家が、岩手県に滞在し、調査を経て作った作品も多く、世界初演の作品にもたくさん出会えます。今年のテーマは「時間と空間との呼応」。歴史が刻まれた建造物でのライブパフォーマンスによって、盛岡市が歩んできた過去と現在をアーティストたちが繋ぎます。時間を越え、ひとつの空間で過去と未来が重なることで、未来の盛岡での風が感じられるかもしれません。マップと共に皆さんもアート散歩を是非!

# MORIOKA ARTS TRAVERSE

アーツライブいわて2023

期間 11.23(木)祝 - 26(日)

もりおか周遊舞台芸術祭

歴史的建造物を周遊しながら、多様なパフォーマンスを体験できる芸術祭

期間 11.23(木)祝 - 26(日)

主催 / アーツライブいわて実行委員会、NPO法人いわてアートサポートセンター、公益社団法人日本芸術振興協会、公益社団法人盛岡市芸術振興協会  
 共催 / 岩手県、盛岡市、公益財団法人盛岡観光コンベンション協会  
 助成 / 文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術振興費補助金「地域活性化事業(アートキャラバン2)」、独立行政法人日本芸術文化振興会)

事業名 / JAPAN LIVE YELL project  
 後援 / 岩手県文化振興事務局、岩手県芸術文化協会、岩手日報社、朝日新聞盛岡支局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局、河北新報社、盛岡タイムズ社、岩手毎日新聞社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手

再発見

11月23日(木)祝-26日(日)

A 旧石井県令邸



明治18年頃建設された盛岡で最も古い本格的な煉瓦造の第二代石井省一郎県令の私邸。3階建てのモダンな洋館に呼応するインスタレーション、演劇作品を上演します。

〒020-0875 岩手県盛岡市清水町7-51

駐車場はございません。お車でのご来場はご遠慮ください。入り口に階段がございます。

オープニングプログラム ダンスショーイングとデジタルアート展 ギャラリートーク

13:30-13:45 森下真樹・中村駿が踊りながら旧石井県令邸をぐるぐるめぐるダンスショーイング
14:00-14:45 「この風、あの光～都市と呼ぶために～」アラカワケンスケ×千葉光 (NoMaDoS)

アラカワケンスケが、作品制作のための岩手県滞在で、改めて気づいたこと。そして、建築という視点で、盛岡市の「めぐり」について考える千葉光さんのお2人が、今回の展示作品について、また作品を通して感じる都市とアートの呼応について一緒に話します。

- 日時/11月23日(木)祝 13:30~15:00
参加無料/20名程度 ※事前申込が必要
ダンス/森下真樹、中村駿
トーク/アラカワケンスケ+千葉光(株式会社NoMaDoS)

まちと呼ぶる体験型演劇 『ト(り)リップ-旧石井県令邸編-』

「ト(り)リップ」とは、劇作家・演出家として活躍の場を広げながら、盛岡市の旅行会社でまち歩きガイドなどを行っている村田青葉が「まち」と「演劇」を本格的に組み合わせた新企画。街や人、建造物などに堆積してきた歴史から、滴り落ちてきた(Drip)お話しを、演劇(Drama)によって目の前に立ち上げ、居合わせた人々を小旅行(Trip)したような感覚にお連れします。

- 日時/11月25日(土)、26日(日) 1日9ステージ、各20分程度
11:20/11:40/12:00/12:20/13:40/14:00/14:20/14:40/15:00
料金/500円(各回定員12名程度)
会場/旧石井県令邸 1F

出演: 新沼 温斗, 佐々木 玲奈, 藤原 慶, 村田 青葉
作・演出: 村田 青葉
関連企画あり

建築と呼ぶるデジタルインスタレーション 展示:「光をあつめて・風をあつめて/アラカワケンスケ」

盛岡市出身のデザイナーエンジニア、アラカワケンスケは、リアルタイムに取得した人の気配や動きを、音や光に変えて、そと空間に映し出すあたかなデジタル作品を作っていました。今回アラカワは、岩手県を新たにリサーチし、岩手町、東和町、そして盛岡市で様々な手仕事や、岩手の自然に改めて向き合いました。今作は、その中で感じた「光」と「風」をテーマに、旧石井県令邸の中で移り変わってきた時間を静かにすいどるようなデジタルインスタレーションを発表します。

- 日時/11月23日(木)祝~26日(日) 11:00~16:00 入場無料 ※23日のみ13:30~
会場/旧石井県令邸 2F

文学と音楽が呼ぶる演劇作品 小菅絳史×中川裕貴「山月記」

中島敦による短編小説「山月記」を、一人の俳優・小菅絳史と、一人の音楽家(チェロ演奏)・中川裕貴によって舞台化。高校教科書にも載る「山月記」を、俳優・小菅絳史が語る様々な質感の「言葉」と、中川のチェロ演奏による「言葉以前の声や感情」が併走し、小説の朗読を聞く以上の体験を紡ぎ出します。2020年より様々な場所で上演し、大きな反響を得てきた本作を旧石井県令邸の屋根裏で上演します。

- 日時/11月25日(土) 13:30~14:45、26日(日) 11:30~12:15 2回公演
料金/1,500円(各回定員20名・自由席・前共同)
会場/旧石井県令邸 3F 屋根裏部屋

出演: 小菅 絳史, 中川 裕貴
演奏: 中川 裕貴

11月23日(木)祝-26日(日)

B 岩手県公会堂



昭和2年に昭和天皇陛下のご成婚を記念し竣工、設計は日比谷公会堂や早稲田大学大隈記念講堂を設計した佐藤功一博士。盛岡の文化を支えてきた公会堂がコンサート会場に!

〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-2

駐車場はございません。公共の交通機関をご利用いただくか、近隣のコインパーキングをご利用ください。会場は階段を上がった階になっております。エレベーターはございません。多目的トイレがございます。

ワークショップ 五感ぜんぶで「ヴィヴァルディの四季」を探求!ワークショップ

ヴィヴァルディの四季を題材に、自然の音を想像したり真似したり、言葉や身体で感じながら、音楽を楽しむワークショップです。

- 日時/11月3日(金)祝 13:00~15:00
会場/プラザおでって4階 リハーサル室
対象/小学生3年生から6年生10名 ※音楽やダンスの経験は問いません
申し込み/応募フォームからお申し込みください(先着順)
講師/ムジタンツ、大場百合菜(ヴァイオリン)

ムジタンツ(酒井雅代・山崎朋)
「ムジタンツ」は、音楽(Music)とダンス(Dance)を組み合わせた造語です。音楽の酒井雅代と身体表現の山崎朋が互いの専門性を持ち寄り、新しい形のワークショップ型プログラムを開発。主にクラシック音楽を題材に、さまざまな切り口から作品を体感しながら、価値観や創造力が広がっていくような体験を企画しています。また、「遊び」を大切なキーワードの一つとして、参加者の興味関心に寄り添いながらゆるやかに進行していくスタイルも特徴です。

木管五重奏曲コンサート 26号室

作曲家を公募し、2名の作曲家が岩手に滞在し、作曲活動を行いました。大畑真は《岩手の伝統芸能》をテーマに、井淵昌樹は《宮沢賢治の「双子の星」》をテーマに、木管五重奏のための曲を作曲。岩手にゆかりのある若手アーティスト5名が木管五重奏を編成。今から100年前頃の木管五重奏の名曲とともに、おたのしみいただけます。

- 日時/11月23日(木)祝・16:00、19:00、11月24日(金) 19:00
会場/岩手県公会堂 26号室
料金/1,500円(定員 50名・自由席・前共同)

〔プログラム〕
大畑真: 木管五重奏のための新曲(世界初演)
井淵昌樹: 木管五重奏のための新曲(世界初演)
F. ブーランク: 木管五重奏のためのノヴェレット
J. イベール: 3つの小品
A. クルクールハルト: 木管五重奏曲 などを予定。

アフタートーク 大畑真×藤井亜紀 (岩手大学 教育学部 音楽教育科准教授)
23日16:00の回終了後、作曲のプロセス等について藤井亜紀さんと対話します。

《若手出身の若手音楽家コラボレーション》 いわたの《四季》 21号室

若手出身のヴァイオリニスト、町田匡をソリストに迎え、いわてフィルハーモニー・オーケストラがヴィヴァルディ《四季》に挑みます。また、気鋭の作曲家マックス・リヒターがヴィヴァルディの四季の要素を再構築(リコンポーズ)した《25%のヴィヴァルディ》を間に挟み、古典的名曲《四季》の魅力と今の視点で再構成されたユニークな《四季》の対比をお楽しみいただけます。

- 日時/11月25日(土) 19:00、11月26日(日) 11:30
会場/岩手県公会堂 21号室 料金/1,500円(定員50名・自由席・前共同)

〔プログラム〕 ヴィヴァルディ: 四季
M.リヒター: 25%のヴィヴァルディ(Recomposed By マックス・リヒター)より抜粋

出演: 村野井 友菜, 大久保 実美, 木戸川 夏海, 宮崎 航大, 矢羽々 未咲
作曲: 大畑 真, 井淵 昌樹

大畑真: 1993年宮城県登米市生まれ。埼玉大学教育学部音楽専修卒業後、東京芸術大学音楽学部作曲科を首席で卒業。卒業時にアカンサ音楽賞を受賞。現在同大学院音楽研究科に在学中。令和元年度東京芸術大学「宮田亮平奨学金」奨学生。令和2年度東京芸術大学「長谷川良夫賞」受賞。第32回山形県音楽コンクール(山形県)最優秀賞。第10回山形県音楽コンクール(山形県)最優秀賞。第10回山形県音楽コンクール(山形県)最優秀賞。第10回山形県音楽コンクール(山形県)最優秀賞。

井淵昌樹: 1993年東京都文京区生まれ。東京芸術大学音楽学部作曲科を首席で卒業。卒業時にアカンサ音楽賞を受賞。現在同大学院音楽研究科に在学中。令和元年度東京芸術大学「宮田亮平奨学金」奨学生。令和2年度東京芸術大学「長谷川良夫賞」受賞。第32回山形県音楽コンクール(山形県)最優秀賞。第10回山形県音楽コンクール(山形県)最優秀賞。第10回山形県音楽コンクール(山形県)最優秀賞。

出演: いわたフィルハーモニー・オーケストラ 弦楽アンサンブル
指揮: 寺崎 隆

町田 匡
盛岡市出身。都立芸術高校を経て、東京芸術大学を卒業。これまでに松見和子、沼田由子、ジュゼッペ・ペーネ、渡辺朝子等の各氏に師事。Ensemble of OVEメンバー及び日本フィルハーモニー交響楽団第2ヴァイオリン奏者。オーケストラをメインワークとする傍らTVドラマや映画、コメディ・編曲、米津玄英、宇多田ヒカル等のアーティストの楽曲に参加するなど多方面に活動に関与している。

11月25日(土)-26日(日)

C 岩手銀行赤レンガ館



明治44年に落成し、岩手銀行中ノ橋支店として市民に愛された、東北地方に唯一残る辰野金吾建築。宮沢賢治も聞いたペートル・ヴェーン作品に、コンテンポラリーダンスで新たな魅力を吹き込みます。

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目2-20

入り口に数段の階段あり。駐車場はございません。近隣駐車場をご利用ください。お手洗いは会場外にございます。

クラシック音楽と呼ぶるコンテンポラリーダンス公演 「ペートル・ヴェーンを踊る」

コンテンポラリーダンサーの森下真樹が、岩手に帰ってきます! 森下真樹は、2020年にペートル・ヴェーン《運命》を、2021年に《第九》を振付し、大好評を得ました。今回は交響曲第3番《英雄》に挑みます。今回はダンサー中村駿とダンサー&映像作家の酒井直之も参加。盛岡での滞在制作を経て、どんな《英雄》になるのか。どうぞご期待!

- 日時/11月25日(土) 11:30~12:15、26日(日) 14:00~14:45
会場/岩手銀行赤レンガ館 多目的ホール
料金/1,500円(各回定員30名・自由席・前共同)

振付・主演: 森下 真樹
出演: 中村 駿, 酒井 直之

11月26日(日)

D もりおか啄木・賢治青春館



明治43年に第九十銀行本店本館として落成。設計は盛岡出身の設計技師、横濱敏。盛岡ゆかりの美術家による絵画作品に囲まれて、マリパでクラシック音楽の温故知新!

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目1-25

駐車場はございません。近隣駐車場をご利用ください。エレベーターあり。

《美術と呼ぶるクラシック音楽コンサート》 マリンバの魅力

もりおか啄木・賢治青春館で開催の「加藤祐子展 楽論V」会場にて、古典から現代作品まで、幅広いレパートリーを持つマリンバ・打楽器奏者《熊谷綾子》が「自然」をテーマにソロコンサートをお届けします。

- 日時/11月26日(日) 15:00
会場/もりおか啄木・賢治青春館2階展示ホール
料金/1,500円(定員60名・自由席・前共同)

〔プログラム〕 J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲第1番より(マリンバ編曲)
安倍 圭子: 竹林
吉松 隆: バードスケイプ 他

演奏: 熊谷 綾子
打楽器、マリンバ(奏者、岩手県盛岡市出身。東京コンセルヴァトワール・尚美管弦打楽器部門打楽器専攻卒業。在学中で優秀賞受賞。サントリーホールで行われた日本打楽器協会主催新人演奏会に出演。現在、盛岡市を拠点に打楽器、マリンバ(奏者として)、アンサンブルの他、いわてフィルハーモニー・オーケストラの打楽器アンサンブルに奏者として活動。芸術鑑賞会、イベント出演、企画なども行う。また演劇や朗読、ダンスなど異分野アーティストとのコラボレーションにも積極的に取り組む。熊谷マリンバ打楽器教室主宰。岩手大学教育学部音楽科非常勤講師。

もりおか啄木・賢治青春館第100回企画展 加藤祐子展 楽論V

- 日時/2023年10月27日(金)~2024年1月21日(日) 10:00~17:00(第2火曜日休館・年末年始休業)

タイムテーブル アーツライブいわて2023 MORIOKA ARTS TRAVERSE もりおか周遊舞台芸術祭 11月23日(木)祝-26日(日)

Table with 4 columns: Date (11/23, 11/24, 11/25, 11/26) and 2 rows of performance times and titles.

Table with 4 columns: Date (11/23, 11/24, 11/25, 11/26) and 2 rows of performance times and titles.

Table with 4 columns: Date (11/23, 11/24, 11/25, 11/26) and 2 rows of performance times and titles.

Table with 4 columns: Date (11/23, 11/24, 11/25, 11/26) and 2 rows of performance times and titles.

期間中、会場及び近隣店舗で、感音ブラリーならぬ「村田青葉のト(り)リップカード」全7種を配布!村田青葉の新作「ト(り)リップ」の世界と関連したアツの小さな戯曲が読める「トリップ」面!モリオカ・アーツ・トラヴァースに関連する歴史的建造物を学べる「トリップ」面!の2面。何かのゲームに使えるぞ!すべて集めた方には抽選で、モリオカ・アーツ・トラヴァース特製の「トリップバック」など、アーツライブいわてグッズをプレゼント。期待して待たれよ。